



かわの情報誌

特集

三重県

伊勢志摩サミット

和歌山県

有田川町 吉備浄化センター「水ホテル」での地域ふれあい交流

堺市

ふるさとの川 内川・土居川美化活動

2016 春号

NO. 93

かわの情報誌 “さらさ” 第93号

ページ

特集

3 伊勢志摩サミット … (A)
三重県 県土整備部 河川課 須川 智史

5 有田川町 吉備浄化センター「水ホテル」での地域ふれあい交流 … (B)
和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 下水道課 谷上 裕明

8 ふるさとの川 内川・土居川美化活動 … (C)
堺市 建設局 土木部 河川水路課 正木 成幸

トピックス

第9回近畿「子どもの水辺」交流会in奈良

10 古都奈良から～山が元気なら水辺も元気！～ … ●●
奈良県 県土マネジメント部 河川課 木村 綾子

13 兵庫県21番目の治水ダム「金出地ダム」湛水開始！ … (D)
兵庫県 県土整備部 河川整備課

14 狭山池築造1400年記念事業 オープニングイベントの開催 … (E)
大阪府 都市整備部 河川室 河川整備課 佐渡 俊文

19 【猪名川水環境交流会2015】を開催しました
近畿地方整備局 猪名川河川事務所 管理課 細田 直希

INFORMATION

20 自助・共助を支える公助
活動の元気をつくる「淡海の川づくりフォーラム」報告
淡海の川づくりフォーラム実行委員長 北井 香

23 福井のミズベリング・プロジェクト
近畿地方整備局 福井河川国道事務所 調査第一課 福岡 浩史

28 大和川高規格堤防整備事業について … (F)
近畿地方整備局 大和川河川事務所 西村 信彦

イベント情報

31 ・第31回大野ダムさくら祭り etc



※表紙写真

琵琶湖
 琵琶湖は、わが国最大の淡水湖で、近畿千四百万人の命の水であるだけでなく、多様な動植物が生息・生育・繁殖しています。しかし、環境の悪化は琵琶湖でも大きな問題となっています。
 平成二十一年に琵琶湖で初めて確認された外来水生植物の「オオバナミズキンバイ」は、生息域を急速に拡大し、在来生物の生息・生育・繁殖環境や、水質の悪化などに影響を与えています。
 このため、行政、地元、NPO法人国際ボランティア学生協会などが琵琶湖の環境を保全するため、定期的な駆除活動を実施しています。
 この取り組みについて、「第9回淡海の川づくりフォーラム」で発表されました。



※図中 A～F は記事の位置を示しています。



オオバナミズキンバイ



オオバナミズキンバイ駆除活動前の勉強会、活動会議の様子



伊勢志摩サミット

三重県県土整備部 河川課 須川 智史

1. はじめに

本年5月26日、27日、主要国首脳会議（サミット）が三重県、伊勢志摩で開催されます。

伊勢志摩には、昭和21年に戦後初の国立公園として指定を受けた伊勢志摩国立公園があり、本年で指定70周年を迎えます。国立公園内には、日本の総氏神であり、日本人の精神性の原点と言われる伊勢神宮があります。

また、伊勢志摩には、リアス式海岸特有の複雑に入り組んだ美しい海岸線が広がり、大小の島々や緑の山々など日本の原風景ともいえる素晴らしい自然環境があります。

さらに、伊勢海老、アワビ、牡蠣等の海産物も豊富で、全国で海女が最も多く、古来「御食国（みけつくに）」として知られていた8世紀から、海女漁の伝統が、現在にも受け継がれています。このように伊勢志摩国立公園は、人と自然の共生が実現している地域です。

2. サミット成功に向けて

この地でのサミット開催は、国際観光地としてのレベルアップを図るだけでなく、三重県の知名度向上や地域の総合力向上につなげる千載一遇のチャンスと捉えています。

サミットを成功させる要因は大きく3つあると考えています。

まず、1つ目は、首脳会議が安全・安心に開催されることであり、来訪される方々に加え、地域住民等の安全が確保されることが重要です。

昨年11月13日、パリで同時多発テロが発生し、多くの方々が亡くなられ、また負傷されました。伊勢志摩サミットの開催を控え、本県にとっても、対岸の火事ではない大変憂慮すべき事態であり、国を始めとする関係機関が、万全の対策を講じる必要があります。

本県では、国との連携を一層強化するとともに、昨年10月末に、県警察本部が中心となって官民一体でテロ対策を協議する「テロ対策三重パートナーシップ推進会議」を設立し、テロ対策に向けた意識の向上や警備体制の強化等を図っています。

また、各国首脳、政府関係者、プレス関係者等が安全で円滑に移動できるよう、県管理道路の整備や景観整備等、各種インフラ整備を行っています。

さらに、地域住民が抱える不安を解消するため、警察や海上保安庁、地元4市町等と連携し、住民懇話会を開催しています。



2つ目は、伊勢志摩地域のみならず、三重県全域、また近隣府県にも効果が及ぶような取組となることです。

本年4月には、ジュニア・サミットが三重県桑名市を主会場として開催される予定です。

また、外務省等の主催も含む10回以上の海外プレスツアーを県内で実施する予定であり、海外メディアの方々には、この機会に近隣府県にも訪れていただければと考えています。

さらに、事業の協賛や応援、寄附による支援、サミット開催200日前や100日前ウィークにおける県内外でのイベント、カウントダウンボードの県内外への設置に加えて、クリーンアップ作戦や花いっぱい作戦で構成される「おもてなし大作戦」に多くの地域住民が参画いただけるよう、機運の醸成を図っています。

3つ目は、サミットを一過性のものとせず、次世代に「サミットの資産」を継承することです。サミットという千載一遇のチャンスを生かし、三重県の知名度を向上させるため、国内外への情報発信を一層強化していきます。

昨年10月に、外務省飯倉公館でセミナー及びレセプションを開催し、駐日外交団や海外メディア等のの方々を対象に、伊勢志摩、三重の魅力をPRしました。

本年2月には、サミット開催100日前ウィークイベントとして、「ASEAN環境フォーラム in 三重」を開催し、アセアン各国の駐日大使等を迎え、環境と産業の調和についてパネルディスカッションを行いました。

また、国の公式プログラム等における地元産食材等の活用の働きかけや、海外の富裕層を対象とした情報発信等に取り組むとともに、サミット開催時に国が設置する国際メディアセンターにおいて、三重の伝統・文化、先端技術等や、東海地域のものづくり・技術をPRできるよう、国に働きかけを行っています。



おもてなし大作戦キックオフイベント

3. 志摩地域における河川整備の紹介

サミットが開催される志摩地域はリアス式海岸が続き、その地形の特徴から大きな河川はなく、河川延長が短く流域面積の小さな河川が多い地域となっています。

その中で、志摩地域の中心地である志摩市阿児町鵜方地内を流下する二級河川前川における、多様な水辺環境を創出するための取組を紹介します。

前川は流域面積6.53km²、流路延長3.02kmの二級河川です。局所洗掘の防止と併せて水辺環境を整備するため、コンクリート製の根固めブロックではなく、動植物の生息・生育環境が確保できる、寄せ石工を実施しています。

施工後2~3年が経過した箇所では、水際には植生が繁茂し、寄せ石の空隙には小魚やカニ等が生息しており、志摩地域の豊かな自然環境と調和した河川環境の保全に努めています。



4. おわりに

サミットという世界最高峰の国際会議の経験は、地域が世界に拓かれ、さまざまな交流やビジネスが拡大し、自立的かつ持続的に活性化していく契機となります。

サミット開催まで残り2か月ほどとなりましたが、これらのチャンスを生かし、三重県だけでなく、近隣府県がさらなる飛躍を遂げられるよう、準備を一層加速させていきますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

有田川町 吉備浄化センター「水ホタル」での地域ふれあい交流

和歌山県 県土整備部 河川・下水道局 下水道課 谷上裕明

1. はじめに

和歌山県有田川町では「今日の下水道は健全で安全・快適な生活環境の改善を図り、公共用水域の水質を保全するとともに、自然の循環システムを健全に保つための重要な社会資本である。」という考えに基づき、平成15年10月から下水道事業に着手し、汚水について下水道整備を促進してきた。

この事業は、都市環境の改善を図り、もって都市の健全な発達と公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資するものである。

町では、下水道終末処理場である吉備浄化センター「水ホタル」において、有田川町公共下水道事業推進協議会※主催のもと下水道への関心を高めてもらうため、地域のふれあい交流を深めるため様々なイベントを実施している。



吉備浄化センター「水ホタル」の写真



有田川町（和歌山県）の位置



吉備浄化センター「水ホタル」敷地内の水路の写真

※有田川町公共下水道事業推進協議会：

公共下水道事業の推進等のため地元関係地区から選出された役員で構成された組織

2. イベント情報

2.1 ホタル鑑賞会

有田川町公共下水道事業推進協議会が主体となり、ホタルが飛び交う浄化センターをめざして、平成22年10月から5ヶ月間をかけ、吉備浄化センター「水ホタル」敷地内に長さ約60mの水路に下水処理した水を流す水路を手造りで完成させた。水路完成後は、毎年、ホタルを飼育し、3月頃に水路へ放虫している。5月の下旬には、浄化センター「水ホタル」を開放し、下水道で処理されたきれいな水で育ったホタルの鑑賞会を行っている。例年、約300人が来場し、地域ふれあいの場となっている。

2.2 スズムシ放虫

スズムシが鳴く自然豊かで環境の良い町を目指し、吉備浄化センター「水ホタル」の周知や下水道への関心を高めるため、鈴虫愛好会、有田川町公共下水道事業推進協議会が主催となり、処理場の敷地内で保育園児らとスズムシの放虫を行っている。放虫のあとは、竹筒を使った流しそうめん、金魚すくい、スイカ割り等を行うことで、例年、約500人が来場し、地域ふれあいの場となっている。また、多くのスズムシが繁殖した年には、和歌山城にもスズムシの放虫を行っている。



ホタル鑑賞会の案内ポスター



スズムシの放虫状況等

2.3 下水道フェス有田川～清らかな流れを未来へ～

有田川町では、有田川町公共下水道事業推進協議会が主催となり、「下水道の日」にあわせて、下水道施設を身近に感じてもらうために、吉備浄化センター「水ホテル」で下水道フェス有田川を実施している。このイベントは、浄化センター内の各所を巡るスタンプラリーや、下水道ポスター展示、またエアロバイクによる発電体験や芋ほり体験もできる内容になっており、例年、約500人が来場し、地域ふれあいの場となっている。

3. おわりに

これらのイベントに興味のある方は是非とも有田川町に遊びに来てください。

和歌山県の平成26年度末の下水道普及率は24.6%で、下水道接続率も78.0%と低い水準である。下水道をまだまだ身近に感じてもらえていない状況であるので、有田川町のような、地域ふれあい交流の場となるイベントを県内各所で行うなど、より多くの人に下水道の必要性を理解してもらいたい。

有田川町
ARITAGAWA

下水道フェス有田川

～清らかな流れを未来へ～

有田川町公共下水道事業推進協議会では、「下水道の日」にあわせて、下水道施設を身近に感じていただくために「吉備浄化センター」で下水道イベントを開催いたします。ご家族そろってご参加ください。

9月27日(土) 14:00～16:00

イベント内容

- 14:00～ スタンプラリーで (先着200個程度) かき水/金魚/バナナをゲットしよう**
受付で、スタンプラリーの台紙を受け取ってください。
①番から⑤番まで順番にスタンプを押してください。
- 14:00～ 下水道ポスター展示(浄化センター内)**
会議室に小学生の力作と保育園児がクラスで書いた絵を展示しています。
- 14:00～ エアロバイクで色々動かそう**
自転車を漕ぐと発電して色々なものを動かさせます。体験してください。
- 15:00～ 子ども限定 芋ほり体験**
掘った芋を持ち帰ろう!

雨天の場合、スタンプラリー等は中止しますが、その他のイベントは決行します。
イベントに関するお問い合わせは、下水道課 (073-53-1031) まで

主催:有田川町公共下水道事業推進協議会
協賛:有田川町

下水道フェス有田川のご案内ポスター

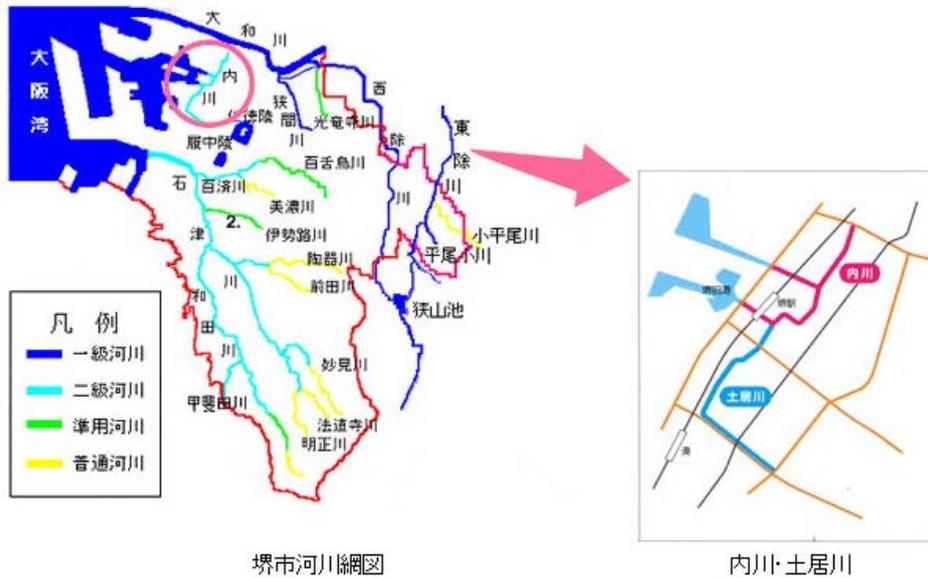


下水道フェス有田川の状況等

ふるさとの川 内川・土居川美化活動

堺市建設局土木部河川水路課 正木 成幸

1. 河川の概要と歴史



内川、土居川は堺市北西部に位置し、宅地化された市街地を流れる典型的な都市河川です。また、大阪湾に面しており、潮汐に応じて水位変動する感潮河川となっています。

15世紀から16世紀にかけて、堺は日本一の海外貿易港として栄え、富を得た商人たちが、町を守るために、西は海でほかの三方には濠をつくりました。その濠が土居川の始まりです。その後、日本を統一した豊臣秀吉によって濠は埋められてしましますが、江戸時代、大坂夏の陣で焼け野原となった堺の町を江戸幕府が基盤の目に区画し、その周りに濠をもう一度掘りなおしました。これが今の土居川です。

今から約300年前、大雨のたびに河内平野では大きな洪水被害が出ていたことから、その地域の洪水を防ぐため大和川の付け替えが行われました。付け替え後の大和川は大量の土砂を運び、港は浅くなり、海岸も土砂で埋まり、河口には新しい土地ができました。港や海岸が埋まったことで土居川の水が海へ流れなくなったため、昔の海岸線沿いに濠を掘りました。これが現在の内川です。こうして内川、土居川はつながり環濠となりました。

第二次世界大戦後の復興で新しいまちづくりが進められていた頃には物資を運ぶ方法も水上から陸上輸送にかわり、川は利用されなくなりました。道路網の整備とともに昭和40年代はじめに四方を囲む内川・土居川のうち、北側と東側は埋められて道路となり、現在の形となりました。



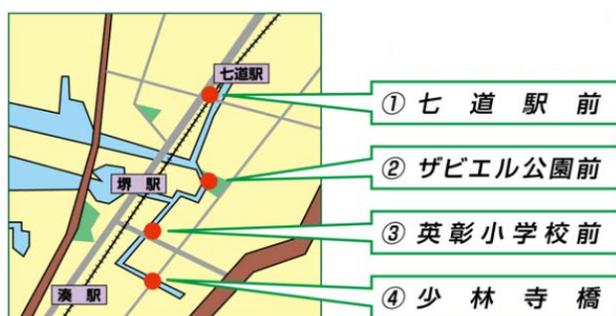
(堺の港の移り変わり「わたしたちの大和川」より)

2. 内川・土居川を美しくする会

中世堺の環濠の名残りを残す内川・土居川では、河川環境の改善に向けた様々な市民参加の取り組みが行われています。そのような中、沿川の8自治連合会では、これまでの個々の取り組みを連携して内川・土居川や周辺の美化活動に取り組む「内川・土居川を美しくする会」を平成14年に結成しました。以後、市民・行政の協働により、内川・土居川を堺の歴史・文化にふさわしい「美しい川」に改善し、次代に引き継ぐことを目的に美化活動を行っています。

3. 美化活動の概要

美化活動は年2回、11月と3月の第2日曜日の午前、内川・土居川の下記の4箇所を拠点に、総延長5.2kmの一斉清掃を行います。堺市は「内川・土居川を美しくする会」の事務局として、活動のPR、清掃に必要な道具等の準備、ゴミの収集・処理の協力を行っています。活動には毎回450～500名程度の方が参加しています。



清掃範囲などの説明



清掃活動の様子



4. おわりに

内川・土居川では、地元と協力して行う美化活動の他、水質改善にも努めており、以前と比べ、かなり綺麗な川になったと実感しております。

内川・土居川周辺には歴史的文化遺産が多数存在しており、昨年3月には堺の偉大な先人である千利休と与謝野晶子に関する歴史資料館「さかい利晶の杜」もオープンしました。ここには茶の湯体験施設があり、お茶と一緒においしい和菓子を食すことができます。また、内川・土居川から少し足を延ばせば、堺市が世界文化遺産登録を目指す「百舌鳥古墳群」もあります。ぜひ堺を訪れ、この歴史と文化を感じてみては如何でしょうか。

第9回近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良

古都奈良から～山が元気なら水辺も元気！～

奈良県県土マネジメント部河川課 木村 綾子

1 はじめに

近畿「子どもの水辺」交流会は、近畿府県の小・中学生が、学校や地域で取り組んでいる水辺活動や調査等の発表の場であり、子どもたちの水辺活動の継続・広がりを図るとともに、上下流間・府県間など「水辺」に関わる方々の交流を深め、「水辺」への関心・愛着の向上、共にづくり・守り・育てる「水辺づくり」を目指すものです。

平成19年度に、水辺活動を行っている団体や行政等がパートナーシップを築き、実行委員会を組織し、近畿各府県持ち回り（大阪府→滋賀県→京都府→奈良県→兵庫県）で開催しており、また、平成24年度からは、次世代の水辺活動指導者の育成を兼ね、大学生等の若い世代が企画・運営の中心に加わりました。

今回で9回目となる交流会は、「古都奈良から～山が元気なら水辺も元気！～」をテーマに、平成28年1月23日に奈良県文化会館で開催されました。



会場の様子



「せんとくん」がお出迎え

2 開催地特有の企画

奈良県には海がなく、県土面積の3分の2が山地です。また、会場は奈良を代表する観光地「奈良公園」の前に位置し、その東方には春日山原始林を望むことができます。山は川を育み、川は海を育みます。今回の交流会では、開催地である奈良県の特徴を感じていただけるよう、現地体験として「奈良公園観察会」を企画し、山や森と水辺がつながっていること、豊かな山や森が豊かな水辺を育むことを子ども達に感じてもらおうと考えました。



手前が若草山、その奥が春日山原始林。世界文化遺産「古都奈良の文化財」の一要素となっている

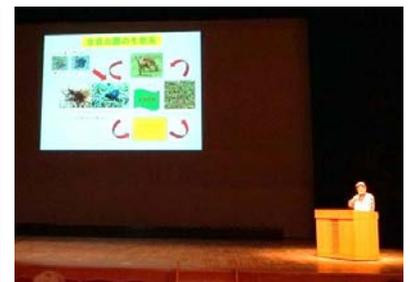
3 第9回近畿「子どもの水辺」交流会 in 奈良

今回の交流会は、5部構成となっています。第1部として開会式、第2部の現地体験、第3部のグループ別発表会、第4部のグループ別交流会・全体交流会、そして体験交流・展示プログラムです。

第1部では、実行委員会会長の谷幸三氏（奈良県水性生物研究会）と子ども達が開会宣言を読み上げ、近畿各地から参加した27の学校や団体を紹介し、大学生等の若手実行委員のリーダーが1日の流れを説明しました。そして、会長による「奈良公園の生態系講座」では、楽しくわかりやすく、奈良公園で学ぶ要点を事前にお話ししていただきました。



若手実行委員による進行説明



会長の「奈良公園の生態系講座」

第2部は、いよいよ奈良公園観察会です。当日は気温が低く寒いものの、子ども達は元気よく出発して行きました。観察ポイントは「ふしぎな木」、「おおきな木」、「ビューポイント」の3つです。「ふしぎな木」は、幹が空洞（ウロ）となり、そこから竹が生えているムクロジのことで、「おおきな木」は約100年前に明治天皇玉座跡に記念植樹されたクスノキ、「ビューポイント」では、春日山原始林を眺めながら、そこから流れる吉城川を観察しました。自然とふれあい子ども達はとても楽しそうでした。



ムクロジの中から竹が生えています。
「ふしぎな木」



「おおきな木」のクスノキ。樹齢100年でとても大きくなります。



春日山原始林に源流がある吉城川。佐保川→大和川に流れ、最後は大阪湾に。

第3部では、子ども達が日頃の活動の成果について、ポスターを使って発表します。この日のために練習してきた子ども達。活動で使用した道具や衣装を持ち込み、創意工夫が凝らされていました。自分たちの発表を聞いてもらうことができ、また、他の団体の活動を知ることができ、子ども達にとって良い機会になったと思います。



紙芝居を使って発表



弥生時代の服を身につけて。

第4部では、まず、2つの議題「奈良公園で感じたことは?」、「山・森と水辺のつながりを語り合おう」をグループ毎に話し合いました。続いて、「山と水辺が元気になるために何ができる?」について考え、葉っぱ（葉っぱ型の緑色の付箋）に「わたしたちは何ができるか」を書いてもらい、その葉っぱで「おおきな木」を作成しました。この「おおきな木」には、みんなの思いが、奈良公園で見たクスノキのように、100年先はもっと「おおきな木」となって、山や森そして水辺も元気になるようにとの思いが込められています。また、子ども達からの出たたくさんの意見は、グループで一つにまとめ、みんなの前で発表してもらいました。そして最後に、山や森とみんなの活動している水辺がつながっていることを、スライドで確認しました。



議題について話し合おう



葉っぱに「思い」を書きました



グループの意見を発表!



「山と水辺が元気になるために何ができる？」
に対する各グループの発表内容

<p>Aグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木を植え、上流をきれいに ・ゴミを拾い、下流をきれいに 	<p>Bグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山と水辺で清掃活動 ・ゴミを捨てない 	<p>Cグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てせず山と水辺をきれいに ・ムダ使いをしない
<p>Dグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物同士が助け合う 	<p>Eグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境のつながりに関心を持ってもらう 	<p>Fグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たち人間が山を守る



↑子ども達の「思い」を書いた、たくさんの葉っぱで「おおきな木」を作成しました。

「山や森と水辺がつながっている」ことを確認したスライド。
イラストは若手実行委員が描きました。→



体験交流・展示プログラムは、主に、昼食のフリータイムと閉会后～16時までの間、子ども達の水に関する知識をさらに深めてもらう楽しい展示や催しです。軟水と硬水の違いや、魚釣りゲーム、クイズやポスター展示などを通じて、楽しく学んでいただきました。



水の硬度が違うとなにが違うのかな？
実験で調べよう！



大和川の魚釣りゲーム！
何が釣れるかな？

4 おわりに

今回の交流会は、現地体験を行うこともあり、全体の時間配分や雨天時はどうするのか、といった課題がありました。奈良公園の下見や子ども達の発表の時間の確保など、若手実行委員を中心に、何度も議論を重ねました。また、雨天時の奈良公園観察会の代替案として、若手実行委員の日頃の活動を発表することになり、晴天時には全く披露されないにも関わらず、発表用のパワーポイントを作成したり、かなり負担もあったことと思います。ですが、子ども達に「楽しかった！」と思ってもらえるイベントとなるよう、努力を惜しまず頑張ってくれました。交流会の主役は「子ども達」ですが、その立役者は大学生等の「若手実行委員」でありました。若手実行委員の皆さんに拍手を送りたいと思います。

兵庫県21番目の治水ダム『金出地ダム』湛水開始！

兵庫県 県土整備部 河川整備課

1 ダム検証を経て本体完成、そして試験湛水へ

金出地ダムは、兵庫県が赤穂郡上郡町金出地地内を流れる二級河川千種川水系 鞍居川 に建設する重力式コンクリートダムです。

鞍居川は、上郡町中心市街地付近で千種川に合流する河川で、流域上流部の丘陵地にはSpring-8をはじめとした学術研究機関が立地し、快適な居住環境や余暇機能などを総合的に備えた「播磨科学公園都市」があるほか、中流部には豊かな恵みを育む水田が広がっています。

鞍居川流域では、昭和51年9月洪水をはじめ、これまで多くの洪水被害が生じており、さらに平成16年9月の台風第21号の豪雨では、411戸の家屋が浸水するなど大きな被害が発生しました。このため、兵庫県では洪水被害の軽減を図るため平成2年度からダム建設事業を進めてきました。

平成22～23年のダム検証の際には、栗柄ダム（篠山市）とともに全国で3番目に再開の判断を受け、平成24年3月に本体工事に着手、平成27年3月には本体コンクリート打設を完了し、この度、ダム貯水池を満水状態にし、ダム堤体及び貯水池の安全性を確認する試験湛水を開始しました。

- ・事業期間 平成2年度～平成27年度
- ・ダムの諸元
 - 形 式：重力式コンクリートダム
 - 洪水調節方式：自然調節方式
 - 堤 高： 62.3m
 - 堤 頂 長：184.0m
 - 総貯水容量：470万m³
- ・総事業費 約173億円



ダムを正面から望む

2 天候に恵まれた湛水式

平成28年1月30日、建設を担当した県西播磨県民局の主催により湛水式を執り行いました。

前夜まで降り続いた雨は上がり、幸い日差しは戻ったものの寒風が吹き付ける中、建設に携わった県及び工事関係者のほか、事業に協力いただいた地元上郡町関係者及び地域の代表者など、多数の方々に臨席いただきました。

湛水式では、片山西播磨県民局長や糟谷県土整備部土木局長、遠山上郡町長らによりゲート閉塞ボタンが押されると、締切ゲートが降ろされ堤内仮排水路を閉塞しました。

前夜までの雨により水量が多く順調に貯水が始まり、1月の寒空ではありましたが、絶好の湛水式日和となりました。



堤内仮排水路の閉塞

3 地元の期待を受ける金出地ダム

湛水開始後、貯水位は順調に上昇しており、ダム堤体の漏水量、堤体および貯水池周辺にも変状は見られず、日々安全を確認しながら進めています。

金出地ダム周辺は、土捨場跡地を活用して地域の方々が運営主体となった自然植物公園の整備が計画されており、周辺の遊歩道と連携して、ダム周辺だけでなく鞍居地区全体の地域活性化につながることを望まれています。

清らかな水を湛えるダムと豊かな自然を満喫できる公園、また、地産地消のおいしいそばなどもある、この鞍居地区へ是非お立ち寄りください。



湛水状況 (2月25日時点)

狭山池築造 1400 年記念事業 オープニングイベントの開催

大阪府都市整備部河川室河川整備課 佐渡 俊文

1. はじめに

狭山池は、大阪府南部の大阪狭山市にある日本最古のダム形式のため池で、飛鳥時代（西暦 616 年頃）の築造以来、歴史上、著名な人物が改修に関わり、現代まで守られてきた「生き続ける遺産」です。また、昭和 57 年に発生した災害を契機に昭和 63 年度から平成 12 年度にかけて行われた治水ダム化工事いわゆる「平成の大改修」による発掘調査で出土した木樋や重源狭山池改修碑が平成 26 年に国の重要文化財に、平成 27 年に狭山池が国の史跡に指定されました。

狭山池では、2016 年に築造 1400 年を迎えるにあたり、狭山池の恩恵や歴史的価値を再認識し、狭山池とそれを育んだ地域の魅力を国内外へ発信することを目標に、市民、行政、企業が一体となって「狭山池築造 1400 年記念事業実行委員会」を設置し、狭山池や狭山池博物館を中心に、さまざまな記念事業に取り組んでいます。

今回、平成 28 年 2 月 27 日（土）に開催された狭山池築造 1400 年記念事業オープニングイベントとして、桜の植樹祭、国史跡狭山池指定記念碑除幕式、狭山池築造 1400 年記念式典が開催されましたので、その概要について紹介します。



図-1 狭山池の位置



図-2 現在の狭山池

2. 桜の植樹祭

かつて「狭山の春霞」と呼ばれ桜の名所であった狭山池において、治水ダム化工事により伐採された桜を復活させようと、世界的にも著名な建築家で、狭山池博物館を設計した安藤忠雄氏の呼びかけにより、2003 年に地域団体の狭山池まつり実行委員会や大阪府、大阪狭山市などで構成される狭山池さくら満開委員会が設立され、2004 年から安藤忠雄氏の講演会等を主催して寄付金を募り、桜の植樹を毎年行っています。現在、狭山池周遊路 2,850 m に約 1300 本の桜が植樹され、狭山池は、桜の名所として復活し多くの人々が訪れるようになりました。

今年で 12 回目を迎えた植樹祭は、午前 9 時 30 分から、狭山池の東堤で行われ、築造 1400 年を記念したシンボルツリー 1 本を含む 13 本の桜を植樹しました。

当日は、好天に恵まれ、植樹祭には、古川大阪狭山市長（以下、古川市長）、吉村大阪府都市整備部長、新成人、地元の保育園児やその父兄など 100 名以上が集まり、例年以上に大盛況で、参加者一人一人が、桜に願いを込めて植樹を行いました。



図-3 シンボルツリーの植樹



図-4 一般参加者の植樹

3. 国史跡狭山池指定記念碑除幕式

平成 27 年 3 月に狭山池が国の史跡に指定されたことから、大阪狭山市、大阪狭山市教育委員会の主催で、記念碑の除幕式が午前 10 時 30 分から、狭山池の北堤で行われました。

除幕式は、中岡文化庁次長、向井大阪府教育長、市埜狭山池土地改良区理事長ほか、100 名以上の関係者が出席して行われ、古川市長の挨拶、工楽狭山池博物館・市立郷土資料館館長による国史跡狭山池の概説後、除幕が行われました。

除幕は、主催者代表 4 名、来賓者代表 6 名により行われ、記念碑が披露されると出席者から大きな拍手が湧き起こりました。そして、中岡文化庁次長、向井大阪府教育委員会教育長、丸山大阪狭山市議会議長の祝辞を頂き、式典が終了しました。



図-5 除幕前

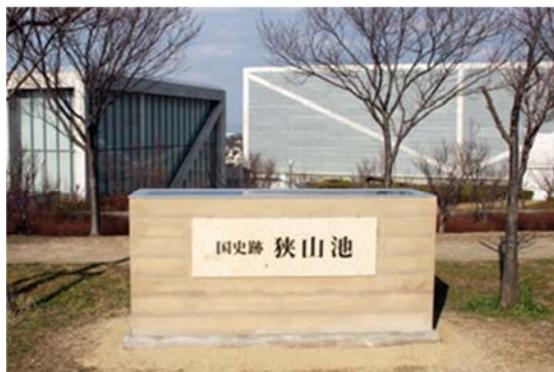


図-6 国史跡狭山池指定記念碑

4. 狭山池築造 1400 年記念式典

記念式典は、午後 1 時から SAYAKA ホールで、大阪狭山市、狭山池築造 1400 年記念事業実行委員会の主催により、国会議員、府会議員、松井知事（竹内副知事代理出席）、中岡文化庁次長、山田近畿地方整備局長ほか、来賓者、招待者、一般者参加者を併せ約 1000 人が出席し、盛大に行われました。

式典は、大阪狭山混声合唱団による合唱に始まり、狭山池築造の歴史から、平成の大改修、現在の狭山池の取組を映像で振り返り、狭山池築造 1400 年実行委員会、高林委員長（大

阪狭山市副市長)の開式の辞、古川市長による式辞、竹内副知事、中岡文化庁次長の祝辞が行われました。

古川市長は、「狭山池は大阪狭山市のシンボルであり心のふるさと。ため池を活用したグリーン水素シティ構想を進めており、水をキーワードに自立できるまちづくりを進めて行く。」、竹内副知事は、「狭山池の歴史的価値やその周辺地域の魅力、大阪の魅力を国内外に発信し、多くの人々が南河内地域を訪れ、地域の活性化につながるよう取組んでいく。」、中岡文化庁次長は、「かけがえのない文化財、狭山池を子孫に伝えるべき宝として保護せねばならない。地域と連携協力し、一体となって整備保存するとともに積極的に活用していきたい。」と述べられました。



図-7 古川市長 式辞



図-8 竹内副知事 祝辞



図-9 中岡文化庁次長 祝辞



図-10 記念式典の様子

また、2年前に1400年を迎えた日本最古の官道である竹内街道・横大路1400年活性化実行委員会から浅野太子町長、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録を目指す、竹山堺市長からエールが送られ、古川市長がお礼の言葉を述べられました。

さらに、今年の新成人4名と大阪狭山市の未来を担う若者達による1400年記念宣言が行われ、新成人から「国民の文化遺産であり、郷土の誇りである狭山池の歴史的価値を未来永劫伝え、国の内外に狭山池の魅力を発信し、次世代に継承する。」と力強く宣言文が読み上げられると観客席からは盛大な拍手が湧き上がり、最後は、狭山の男達による合唱が行われ式典の幕が下りました。

今回の式典を通じ、狭山池築造1400年記念事業に対する市民の関心の高さを再認識するとともに、式典に参加した市民の皆さんから、「よかった」とのお声をいただき、式典が無事遂行された安堵感と、これから12月まで開催される様々な記念イベントを成功させる使命感が湧き上がってきました。



図-11 エールの交換



図-12 新成人による 1400 年記念宣言

式典終了後の午後 2 時 30 分からは、世界的太鼓奏者である林英哲さんをお迎えし、和太鼓によるアコースティックコンサートが行われました。魂を込めた、ダイナミックな演奏は、会場だけでなく、観覧者の心を揺さぶり、演奏が終わったあとは、大きな歓声と拍手が鳴り止みませんでした。



図-13 林英哲氏による和太鼓の演奏



図-14 演奏を終えて・・・

5. 最後に

今回紹介した、オープニングイベントをキックオフに、狭山池では、今年 12 月まで、様々な記念イベントを行う予定です。

大阪狭山市では、この 1 年間、多くの人々に狭山池を始め、大阪狭山市の魅力を知っていただきたいとの思いから、「狭山池築造 1400 年記念ガイド」(無料)を発行し、また、携帯アプリ「大阪狭山市」(無料)を配信しています。

記念ガイドは、①築造 1400 年の狭山池の徹底解剖のほか、②散策ガイド、③狭山のうまい店、④狭山の特産品紹介など、大阪狭山市を訪れてみたいと思う魅力が満載されています。

「狭山池築造 1400 年記念ガイド」は、無料ですので、ご希望の方は、大阪狭山市政策調整室企画グループ(電話 072-366-0011)にお問い合わせください。

携帯アプリは、大阪狭山市、狭山池周辺で使える様々な情報が満載です。ぜひダウンロードして大阪狭山市、狭山池を訪れてください。

桜のシーズンを迎え、桜の名所である狭山池とその周辺で 4 月初旬からゴールデンウィークの期間中に行われる主なイベントは表-1 のとおりです。また、狭山池博物館では、築造 1400 年を記念したダムカードを配布しております。その他のイベントは、狭山池築造

1400年記念事業実行委員会ホームページ (<http://sayamaike1400th.jp/>) を参照してください。

今年は、是非、大阪狭山市、そして狭山池を訪れて頂き、1400年目の春を満喫しては如何でしょうか。



図-15 狭山池築造 1400 年記念ガイド



図-16 大阪狭山市携帯アプリ



図-17 狭山池の桜



図-18 築造 1400 年記念ダムカード

表-1 主な狭山池築造 1400 年記念イベント (春)

イベント名	期間	場所
特別展「狭山藩北条氏」	2016年3月19日～4月16日	狭山池博物館
表現倶楽部うどい第10回記念公演	2016年3月26日、27日	SAYAKA ホール
ラバーダック	2016年4月初旬～5月8日	狭山池公園
大阪狭山市桜まつり～春～	2016年4月2日 *桜のライトアップ 2016年3月25日～4月2日	狭山池公園
小灘一紀絵画展「神々の微笑」	2016年4月21日～5月5日	狭山池博物館
狭山池まつり 2016	2016年4月23日、24日	狭山池公園

*その他イベントは、狭山池築造 1400 年記念事業実行委員会ホームページ (<http://sayamaike1400th.jp/>) をご確認ください。

【猪名川水環境交流会2015】を開催しました

近畿地方整備局 猪名川河川事務所 管理課 細田直希

1. はじめに

平成27年12月12日（土）に開催した、猪名川水環境交流会は、猪名川をフィールドとした水環境に係る活動発表と意見交換を通じて、猪名川流域の行政機関、活動団体、学生や企業など様々な方々の交流をはかることを目的とし、今後の活動における連携強化に向けた情報交換の場として開催しました。

この猪名川水環境交流会は平成22年度より開催しており、今年度で6回目の開催となります。

2. ミニ講演

子安丈士氏（能勢酒造(株)代表取締役社長）を講師に迎え、「猪名川でのミネラルウォーターやサイダーづくり」と題し、地域資源を活かした清涼飲料ビジネスについて講演をしていただきました。



子安丈士氏のミニ講演

3. 活動報告

猪名川で活動・研究されている団体（自然と文化の森協会、環境学園専門学校の先生と生徒）より、猪名川における環境研究や、水際環境、イベント等についての報告をしていただきました。報告では、猪名川を取り巻く水環境の変化や猪名川で毎年開催している水辺まつりについて発表していただき、参加者に川と人との関わりを考えていただく内容となりました。



専門学校の生徒による活動報告



自然と文化の森協会の活動報告



専門学校の先生による活動報告

4. 利き水クイズ大会

猪名川ミネラルウォーターを含む3種類の水を当てるクイズを実施し、参加者に水の違いについて飲み比べていただきました。結果は、参加者40名中14名が3種類全て正解し、比較的高い正解率でした。



利き水クイズ大会の様子

5. 意見交換会

猪名川をフィールドとして活動している団体の今後の参考とするため、昨年度に活動報告をしていただいた団体の皆さんも参加し、それぞれの取組みについて、お互いの活動に対する感想や活動における課題・要望について意見交換を行いました。また終了後に懇親会を実施し、事務所の担当者も交えて様々な情報交換が行われました。



意見交換会の様子

6. おわりに

参加者からは、「意見交換会はさまざまな活動をされている多くの方の意見をうかがうことができ、勉強になった。」「若者に多くの発表の場を提供し、若い人たちが自然に興味を持つような環境作りを望みたい。」など、これからも猪名川沿川での活動を通じ、猪名川をよく知り、よく学び、身近にふれあう川とするための交流会として継続を望む声が寄せられました。

自助・共助を支える公助 活動の元気をつくる「淡海の川づくりフォーラム」報告

淡海の川づくりフォーラム実行委員長 北井香
(元 流域治水検討委員会(住民会議)委員)

1. 淡海の川づくりフォーラムとは

川や水辺に関する活動の公開選考会「淡海(おうみ)の川づくりフォーラム」。2016年2月13日(土)に第9回を開催しました。

本フォーラムは、川や水辺に関わる活動の公開選考会の形をとりながら「川や水辺と私たちのいい関係」について会場のみinnで意見を交わし、考える機会です。参加団体による3分間の活動プレゼンを経て、選考員が“ほめる視点”からの公開選考を行い、その議論を軸に「みんなのお手本にしたい」「ここが素晴らしい」と共感を集めた取組みを表彰します。

淡海の川づくりフォーラムでは、“川や水辺と共生する暮らし”、“川や水辺と私たちのいい関係”について、川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、公開選考方式のワークショップを通じて、それぞれの交流の中で議論を深め、探ります。

会の冒頭に示している趣旨



全参加団体による3分プレゼン



小グループに分れて質疑や意見交換を行う「テーブル選考」



付箋を使った公開投票やキーワード出しを行う「テーブル選考」

これらの仕組みは、1998年から取り組まれている川に関する活動の全国公開選考会「いい川・いい川づくりワークショップ(前身:川の日ワークショップ)」で確立されたものです。滋賀県版として一日開催の日程にアレンジし、実践を重ねています。

2. 「ほめあい・学びあい・元気になる」フォーラムの仕組み

「淡海の川づくりフォーラム」の真髄は、選考過程を通して参加した団体や来場者が「ほめあい・学びあい・元気になる」ことにあります。受賞することに意味があるのではなく、その選考過程こそが大切です。

各活動が持つ取組みの要素を選考員や参加者が掘り起こし、会場に集うそれぞれが「川や水辺と私たちのいい関係」づくりのヒントとして受け取り、意見交換を通じて会場全体で共有します。選考には、川に関する活動の実践者や有識者、河川や環境に関わる部門の行政職員などと多彩な方々が登場します。選考員が共有しているのは、団体の活動を「審査」する立場ではなく、参加団体の活動のよいところを引き出し、会場全体での議論・検討のきっかけとする「選考」です。

この、よいところを引き出す加点方式の選考は、参加している活動団体にとって、自らの活動の意義を第三者の視点から再確認できる機会になります。ときには広い専門分野を背景にした選考員から、思わぬ発見や連携につながるアイデアを得られることもあります。参加者からの意見も受け入れ、交流のきっかけとなったり、新たな活動意欲を育む機会にもなっています。

3. 淡海の川づくりフォーラム、もう一つの意義

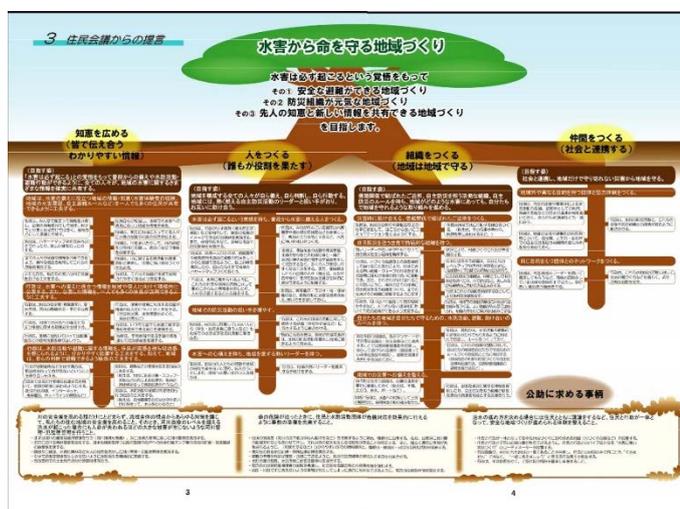
この会の主催である実行委員会は、後述する「流域治水検討委員会（住民会議）」の元委員を中心メンバーとして発足、事務局を滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室に担っていただいています。一見、フォーラム趣旨との関連がイメージできないつながりですが、本フォーラムのはじまりは、「滋賀県流域治水の推進に関する条例」（平成 26 年 3 月制定）に向けた議論と大きくかかわりを持っています。

平成 20 年 3 月、滋賀県土木交通部流域治水政策室が所管する「流域治水検討委員会（住民会議）」が 10 名の公募委員に委嘱され、始まりました。委員会は作業部会を繰り返して、委員自身も提言とりまとめに積極的に関与して同年 12 月に「水害から命を守る地域づくり—滋賀県民宣言—」を滋賀県知事へ提言しました。提言書では“水害は必ず起こるというという覚悟を持つ”ことを前置きし、住民や地域、行政が取り組むべき地域づくりの方針や方策についてまとめました。

委員会の議論では、住民自らが日常的に川への関心を持っていることが、いざというときの危機管理に重要であると確認され、環境活動、生きもの観察などの川と関連した取り組みも、人々の川への意識を高め地域防災力向上の一助になると位置づけました。また、そのような住民を育て、地域の活動が充実していくためには、活動同士のネットワークやモチベーションアップの機会が重要であるとして、自助・共助につながる住民・地域の活動を「続けるための支援」を行う行政の役割「支える公助」を提起しました。

この提言の方針を受け、「第 2 回淡海の川づくりフォーラム（主催：滋賀県）」が平成 21 年 3 月に開催。既述の形式を取り入れた初めてのフォーラムとなり、川や水辺に関する活動のネットワーク、励まし、充実の機会として継続実施されることとなりました。

実行委員会は平成 22 年度に発足し、以来、会を主催しています。元住民会議委員を中心に組織しており、提言の実現へ向けて主体的に関わる気持ちを持って取り組んでいます。



「水害から命を守る地域づくり—滋賀県民宣言—」に掲載している地域づくりの方針等について要点をまとめた樹形図

※ 下記 URL で公開中

<http://www.pref.shiga.lg.jp/h/ryuiki/juuminkaigi/juuminkaigi.html>

4. 参加団体の傾向と反響

本フォーラムでは、河川に関する団体だけでなく、小中学校など教育機関での活動をはじめ、自治会や営農団体や森林保全団体からのご参加など、多様な活動のご参加を得ています。

福井のミズベリング・プロジェクト

近畿地方整備局 福井河川国道事務所
調査第一課 福岡浩史

「ミズベリング・プロジェクト」とは、かつての賑わいを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトで、「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語です。

水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑わいを生み出すムーブメントをつぎつぎと起こすことを意味しており、河川敷地占用許可準則の緩和措置を利用した民間事業者によるオープンカフェやレストランが出店されるなど、さまざまな取組が広がりつつあります。



広島県 京橋川



東京都 隅田川

福井市内には、足羽川沿いに「浜町」という料亭街が広がっており、江戸時代には城下町の水辺の玄関口、および、物流の拠点として足羽川の水辺と密接につながった繁華街でしたが、近代の急激な経済発展を経て、洪水を安全に流すための空間になってしまった足羽川では、堤防の桜並木が満開を迎える頃の春まつりなどのイベントや、市民の散策など限定的な水辺利用となっています。



足羽川の桜並木



浜町の料亭

かつて、人々が集っていたこの足羽川のポテンシャルを活かし、水辺に賑わいを取り戻すために、地元関係者と協力しながら福井のミズベリング・プロジェクトがスタートしました。

手始めに、キックオフプロジェクトとして、平成 27 年 3 月に、「ミズベリング越前若狭会議」を開催しました。

本プロジェクトを推進しているプロデューサー等をお招きし、自治体などたくさんの方の行政関係者や商工会議所、青年会議等の商業関係者にご出席いただき、全国の先進事例についてのお話を伺うことで、福井における水辺の利活用の可能性について考えるきっかけをつくることができました。



ミズベリング越前若狭会議

4 月には、足羽川沿いで「ふくい春まつり」が開催され、多くの方が桜並木を求めて水辺に訪れました。中には、例年にはなかった川床も設置されるなど、仮設で数日間ではありますが、このような新たな水辺利用が実現したことは大きな一歩であり、今後の更なる利用拡大につながる布石となりました。



仮設の川床



河川敷で行われたイベント

7 月には、全国一斉社会実験として 7 月 7 日午後 7 時 7 分に、乾杯をするという水辺関心創造アクション「水辺で乾杯」が実施されました。

「浜町」に接した足羽川で開催を呼びかけたところ、100名を超す参加者が集まり、水辺で人々が語りあうという体験をしていただきました。

青いものを何か身につけて参加するという趣向により、参加者に一体感がつくり出され、大いに盛り上がりました。



水辺で乾杯

8月上旬には、越前市内の日野川において、川や砂礫河原の生き物観察や川遊び体験など、日野川の魅力を発見し、川への関心を高めるイベント「そうだ！川に行こう！」が開催されました。

これは、地元の「日野川に砂礫河原をとりもどす会」が毎年開催しているもので、今回で7回目となるものです。

アユの手づかみ漁、E ボートでの川探検、日野川水族館と称した魚の展示、河川敷でのお泊まりキャンプなどを催し、たくさんの親子連れが水辺と接する機会となりました。



そうだ！川に行こう！

8月下旬には、同じく越前市内の日野川において、「おしゃれなり・BAR」が開催され、雨模様にもかかわらず3日間で約2,000名の来場がありました。これは「リバビズ大学」という民間団体が主体となって河川敷に地元のレストランやBARなどが出店するもので、今年で4回目を迎えました。

日野川の流れを眺めつつ、生演奏のミュージックも聴けるという趣向で、水辺空間の心地よさを体感することができます。

この取組の特筆すべき点は、運営主体が行政などからの公的支援を受けずに独立採算で運営しているということです。普段は街中で飲食店を営んでいるプロのシェフが、本物の味を提供し、お客はその対価を支払うということで水辺でのビジネスが成立しています。



おしゃれなり・BAR

11月中旬には、浜町地域のイベントに合わせて、足羽川の堤防上にワインバー「川 TERRACE」が設置され、週末のみの営業でしたが、5日間で400人が訪れました。

福井市の酒販店がワインバーを出店し、参加者の方々は足羽川の夜景を眺めながらソムリエの勧めるボジョレヌーボーを楽しむことができます。

アンケート調査では、こんなおしゃれな場所が出来るといった意見が多数寄せられました。



川 TERRACE

11月下旬にはミズベリング越前若狭会議のワークショップ第一弾として「若狭ミッション会議」を小浜市で開催しました。

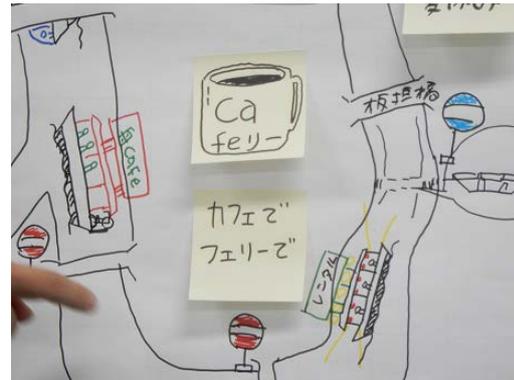
ファシリテータをお迎えし、グループワークの形式で若狭を代表する北川、南川においてふるさとの水辺を楽しく利活用するための様々な提案が生まれました。



若狭ミッション会議

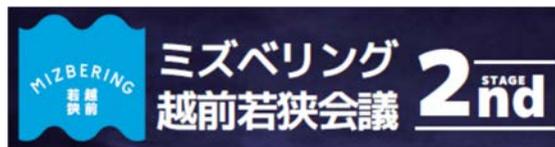
12月上旬にはワークショップ第二弾として「足羽川ミッション会議」を福井市で開催し、グループワーク形式で福井市街地周辺の足羽川に人が集うアイデアを出し合いました。

足羽川で何がしたい？何があったらうれしい？といった発想のもと川遊びの道具を貸し出す案や、フェリーにカフェの機能を持たせる「Cafe リー」といった案が出され、参加者の水辺利用の意識が高まりました。



足羽川ミッション会議

今後の予定としては、3月17日（木）に、福井の美しい水辺空間の活用を推進する「ミズベリング越前若狭会議」のSTAGE2ndを実施予定です。



足羽川の浜町では、地域の創意工夫等を最大限活用できるよう、まちと一体となって水辺利用を推進できるような計画が動き出しつつあり、実現すればますます浜町界隈の賑わいと、魅力ある水辺空間が創出されていくことでしょう。

これからも、地域の活性化が図れるような福井のミズベリング・プロジェクトを進めて行きたいと考えています。

大和川高規格堤防整備事業について

近畿地方整備局 大和川河川事務所 西村信彦

1. はじめに

大和川左岸下流で高速道路事業やまちづくり事業と一体的な整備を進めている高規格堤防整備事業について紹介します。

2. 高規格堤防整備事業の経過

大和川は、大阪府域の下流部が約300年前に付け替えられた人工河川であり天井川になっています。

ひとたび大和川の堤防が決壊した場合、大阪府域に壊滅的な被害が発生し、それにより我が国全体の社会経済活動に致命的な影響を与えることが懸念されます。

計画規模を上回る洪水に対し、堤防決壊による壊滅的な被害を回避するため、昭和62年度に高規格堤防整備事業が創設されました。

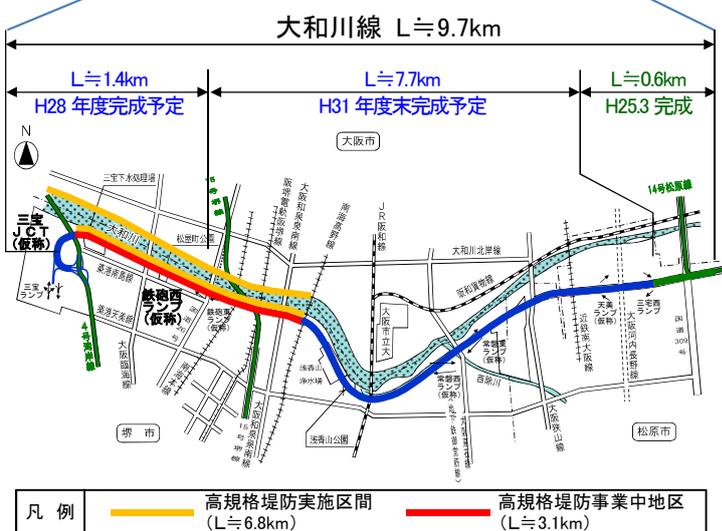
平成22年の「事業仕分け」において、完成までに多くの費用と時間を要する等の指摘を受けたことや翌年に起こった東日本大震災も踏まえた上で、「人命を守る」ということを最重視し、平成23年12月に国土交通省は、全国の整備区間延長を約873kmから約120kmへと大幅に見直されました。

大和川も従来の延長である約43.6kmから、阪神高速湾岸線橋梁付近から南海高野線橋梁付近の「約6.8km（左岸3.1km、右岸3.7km）」に整備区間が絞り込まれました。

3. 整備が進む高速道路事業、まちづくり事業と三位一体となった高規格堤防整備事業

大和川の高規格堤防整備事業は、大阪府道高速大和川線（以下「大和川線」という）とまちづくり事業との一体整備を進めています。このうち大和川線は、平成13年8月に都市再生プロジェクトとして決定された「大阪都心部における新たな環状道路」の一部を形成する高速道路です。大和川下流の左岸側の約9.7km区間を大阪府、堺市及び阪神高速道路(株)により整備が進められています。

「大和川線」、「まちづくり事業」、「高規格堤防整備事業」が一体となって事業を進めることにより、社会経済活動の活性化に寄与し、地域住民の人命を守る安



全で良好な住環境を形成するとともに、地域の安全度を高めることが可能となります。

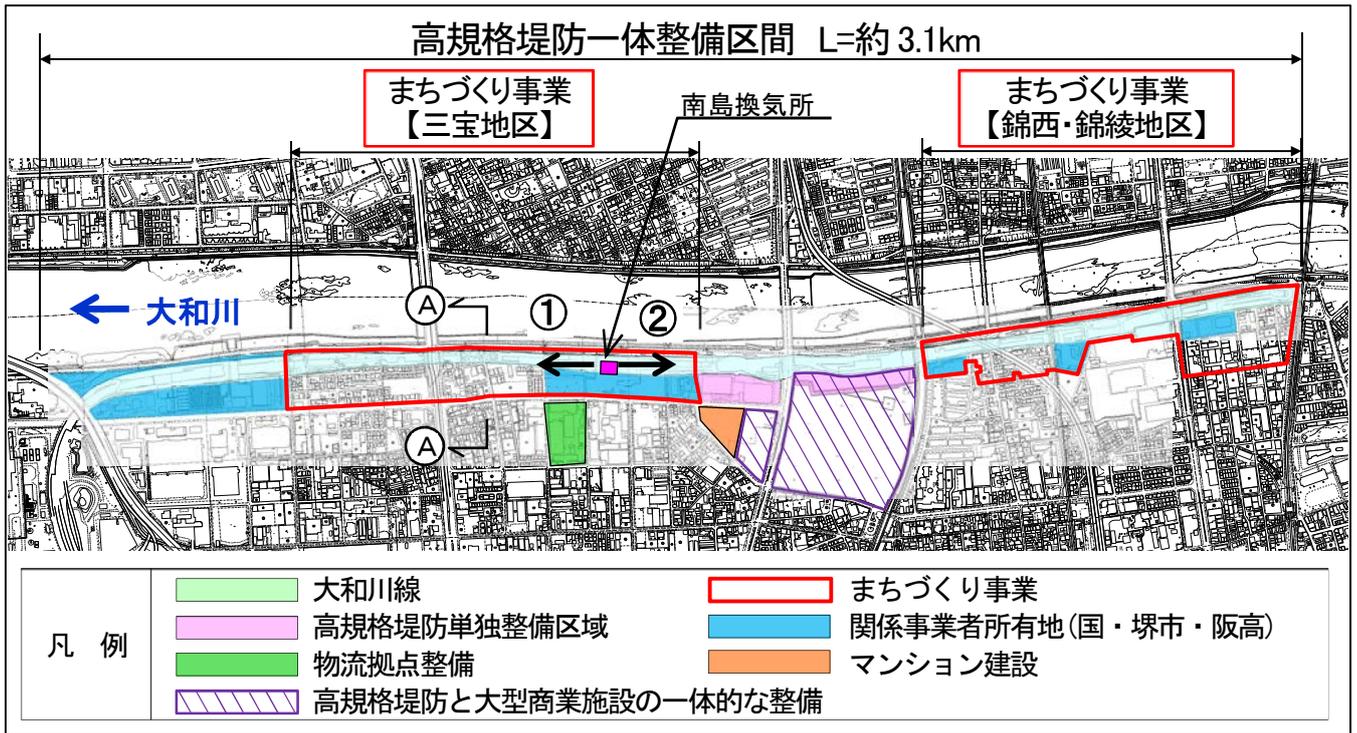
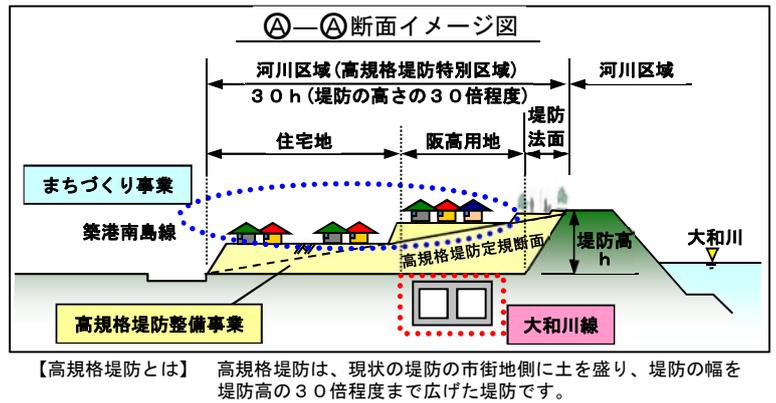
大和川線については、三宝JCT（仮称）から鉄砲西ランプ（仮称）までは平成28年度完成予定で、その他区間は平成31年度末を目指して工事が進められています。現在、高規格堤防整備事業は、大和川線の整備進捗に合わせ、大和川線の上部を中心に盛土を進めています。

まちづくり事業（三宝地区）は、平成28年度に事業認可の手続きを進め、その後、本格的に事業着手となります。

事業着手後、物件調査、補償手続き等を進めながら、先行移転地の造成（高規格堤防の盛土）と宅地の基盤

整備（地区内道路、宅地擁壁、上下水道等）を実施したのち、住宅建設が始まります。事業期間は20年程度を見込んでいますが、今後、地権者の方々のご協力や関係機関と連携を図り、事業期間短縮に務めてまいります。

三宝地区の進捗を勘案しながら、上流の錦西・錦綾地区についてもまちづくり事業と一体となった高規格堤防整備事業を実施する予定としています。



高規格堤防施工範囲

写真①左上 南島換気所より下流側を望む
 写真②右上 南島換気所より上流側を望む
 写真 左下 シールド機 折り返し (外径φ12.47m)

4. おわりに

大和川線が完成間近なこと等により、広域からの交通アクセスの利便性が向上することや、ダイセル堺工場跡地に高規格堤防が整備され、治水上の安全性が向上したこと等を受け、今年3月に大型商業施設（イオンモール）が開業する予定です。

これにより新たな雇用が増えることや、隣接の南海本線七道駅の整備が進み、周辺にはマンションが建設されるなど人口が増えて活気ある街が形成されているところです。

さらに、まちづくり事業と連携した高規格堤防整備事業により大和川に面した良好な街並みが今後さらに展開することにより地域の活性化がより図られるものと期待されています。

また、高規格堤防整備事業の周辺では大和川線の完成を見込み、堺浜を中心に新たな企業立地が加速しており、関西経済の再活性化にも寄与していくものと考えられています。

近畿地方整備局では、地域の皆様に我々が実施している事業の現場を実際に“目で見て”知って頂くため、一般の方を対象に工事現場の見学会を実施しています。

高規格堤防整備事業でもたくさんの方々に見学に来て頂いています。また、HPでは、このような現場で働く人々の活躍を紹介する等のPR活動も行っています。

※詳しくは、近畿地方整備局HP『魅せる！現場』内をご覧ください。

<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/genbakengaku/index.html>



鉄砲町地先でのまちづくり



堺市のまちづくりイメージ図



堺浜の企業立地状況

イベント情報

平成28年4月～6月

エリア	イベント名	河川名	開催日	場所	問い合わせ先	概要・見どころ	交通機関
京都府	第31回大野ダム さくら祭り	由良川	4月2日(土)～4月10日(日)	南丹市美山町裡原 大野ダム公園	美山町大野振興会 0771-75-9110 oonoshinkoukaik@kyoto.zaq.jp	大野ダム公園には、約1,000本の桜が植えられており毎年春にはさくら祭りが開催されています。色んなイベントや地元の特産品等も販売されています。	最寄り駅：JR和知駅路線バスで15分
大阪府	水都大阪 川開き 2016 はちけんやお花見フェスタ	大川	3月26日(土)～4月10日(日)	天満橋 八軒家浜・川の駅はちけんや (大阪市中央区北浜1-2)	にぎわいXing事務局 06-6942-0555 (大阪水上バス内)	桜・船・水辺の3拍子が揃う水都大阪の春を代表する場所八軒家浜。水辺アクティビティをはじめ、たくさんの「ヒト・モノ・コト」が集まっています。その八軒家浜で春の訪れを祝い、春を楽しみましょう。	京阪地下鉄谷町線 天満橋駅徒歩5分
	第3回まちなか水辺で春の水上運動会(チーム対抗メガサップレース)	大川	4月3日(日)	受付 川の駅はちけんや (大阪市中央区北浜東1-2) 開催：大川にて	水上さんぽ実行委員会 (日本シテッサップ協会)	まちなか水辺、そこは普段生活する場からとても身近なアウトドアフィールド。より多くの人にその価値と魅力を知ってもらいたいとの思いから本大会「チーム対抗メガサップレース」を開催いたします。また、皆さまからのアイデアをもとに「水の上でこんなことやってみよう! (社会実験)」も兼ねることで災害時の防災訓練などにも繋がればと願っております。この大会は子供から大人まで誰でも楽しめるイベントです。ユニークな衣装やスタイルも歓迎! ぜひ皆さんでお楽しみ下さい! 参加費：大人 2,000円/子ども(小学生) 1,500円 インターネット申込締切：3月27日まで	京阪地下鉄谷町線 天満橋駅徒歩5分
	狭山池まつり2016	西除川(狭山池)	4月23日午後1時～午後8時・24日午前9時～午後4時30分	狭山池公園ほか	狭山池まつり実行委員会 TEL:072-360-3805	我が国最古のダム形式のため池である「狭山池」の築造140周年記念イベントのひとつ。模擬店、舞台公演、貸ポートほか。	鉄道：南海高野線「大阪狭山市」駅下車(なんば駅から約25分)、西へ約500m。 お車：お車でお越しの場合は、北堤と西堤にある駐車場をご利用ください。 (開場時間：午前8時～午後7時)。
	利き水会	-	4月25日～6月7日(土日不定)	各市町村のイベント実施場所にて開催	大阪府広域水道企業団企画課 TEL 06-6944-6864 URL http://www.wsa-oseka.jp/event-pr/kikimizukai/27kikimizu.html	水道水がおいしく安全であることを実感していただくため、市町村が実施するイベントなどで水道水とミネラルウォーターの利き水を行います。参加者には、ボトル水をプレゼントします。※開催日時や場所等のイベントに関する詳細情報は、利き水会開催日の1～2週間前に、大阪広域水道企業団の「利き水会」ウェブページに掲載されます。(問い合わせ先のURL参照)	-
	大和川水辺の楽校まつり	大和川	5月5日(予定) 10時～15時	大和川河川公園及び河川敷 (大阪府堺市堺区番ヶ丘町5丁)	大和川水辺の楽校協議会事務局 TEL:070-5503-6261 URL: http://sakai-mizube.org/ 堺市河川水路課 TEL:072-228-7418	(予定) 魚とり体験と水質調査を行う「水辺の体験教室」や模擬店、音楽演奏など盛りだくさんの催しを開催いたします。 なお「水辺の体験教室」は、小学生とその保護者が対象で、事前申込み先着40名です。(申込受付開始は4月予定)	最寄り駅 南海高野線「浅草山駅」 徒歩約15分
和歌山県	古座川桜祭り	古座川	3月下旬～4月上旬	古座川町佐田 (七川ダム湖畔)	古座川町役場産業建設課 TEL 0735-72-0180	「佐田の桜まつり」とも呼ばれる約3,000本のソメイヨシノが、七川ダム湖畔周囲約5kmに渡って咲き誇ります。また「日本さくら名所100選」にも選ばれた名所で、湖畔を散策しながらの花見は人気です。	国道42号より車で約30分
	ふじまつり	日高川	4月下旬から5月上旬	日高川町初湯川	ふじまつり実行委員会 TEL 0738-57-0241	長さ日本一(1,646m)を誇る見ごたえのある藤棚ロードがあり、いろいろな種類の藤のお花を香りと一緒に楽しみいただけます。イベント期間中はおたのしみくじや地元物産展、番茶サービスなどの催し物があります。	JR御坊駅からバス「川原河行」に乗車、「川原河」からコミュニティバス「寒川線」に乗り換え「平(愛徳荘前)」下車。(約1時間30分) 「有田IC」を降りて国道424号線を縦て約30分

※予約が必要なものもありますので、事前に問い合わせ先やホームページ等でご確認のうえお越し下さい。

【編集後記】

かわの情報誌「さらさ」2016【春号】の編集を務めさせていただきました。
お忙しい中、記事を投稿していただき、また、イベント情報を提供していただきありがとうございました。
今回の春号につきましても、「水」に関する様々な取り組み、活動や事業紹介がなされ、皆様の努力の結果がうかがわれます。また、川の歴史なども紹介され、知見を広げるとともに、全般を通じて非常に役立つ内容になっていると思います。得られた情報を、今後の取り組みにつなげていきたいと考えます。

編集担当：滋賀県土木交通部流域政策局 妹尾 孝治